

大阪市内

大阪本社社会部
☎06(6231)0131(代)
fax 06(6201)3143
mail:o-syakai3@asahi.com

広告のご用は
朝日エリア・アド
06(6221)2923
大阪朝日広告社
06(6205)8080
折り込みは
朝日オリコミ大阪
06(6226)1290

購読のお申し込み
配達お問い合わせ
0120-33-0843
(7:00~21:00)

「人生の最期は自宅で」尊重



「けつたいな町医者」の一場面。診察する長尾和宏さん。©Gカンパニー

町医者・長尾さん追った映画あすから上映

「人生の最期は自宅で」「痛くない死に方を」。そう望む患者の在宅医療を支え、2500人をもとてきた兵庫県尼崎市の医師、長尾和宏さん(62)を追ったドキュメンタリー映画「けつたいな町医者」が26日から府内で上映される。

尼崎市で1995年から長尾クリニックを営む長尾さんは、日本の在宅医療の草分けだ。終末期の患者への過剰な延命治療や薬の大量投与などへの疑問を訴え続け、日本尊厳死協会の副理事長を務める。

「けつたいな町医者」(毛利安孝監督)は、そんな長尾さんの日常を2019年11月から2カ月間にわたって追った作品だ。外来診療のかたわら、年中無休で往診に駆けつける。患者の手を握り、背中をさすり、笑顔で話しかける長尾さんは「権威的に見えるから」と白衣を着ない。

全力で患者と向き合う長尾さんのモットーは「病だけでなく、人を診る」。過剰な延命治療を選ばなかった患者が家族に見守られ、枯れるように自宅で亡くなる場面もあり、終末期医療のありようを問いかける。当初、この映画は長尾さ

んの著作を原作にした劇映画「痛くない死に方」(高橋伴明監督)のDVDに収録する特典映像として企画された。「痛くない死に方」では終末期医療のありように悩む若い医師を俳優の柄本佑さんが演じ、長尾さんがモデルの先輩医師(奥田瑛二さん)も登場する。劇映画では助監督の毛利さんは当初2、3週間の予定で撮影に入ったが、期間を延ばし、単独の作品として上映することに。「みとりに立ち会う中で、死に方は生き方の延長にあると思った。テーマの深さ、長尾さんと尼崎の人たちの温か

な交流にも魅了され、自分が納得するまで撮ろうと決めた」と毛利さんは言う。

長尾さんは2作品について「コロナ禍のいま、『死』を身近に感じる人が増えている。自分がどう死にたいか。どんな医療を受けたいのか。考える機会にしてみられれば」と話す。

「けつたいな町医者」は26日から、なんばパークスシネマ(大阪市浪速区)とMOVIX堺(堺市堺区)で上映が始まり、3月20日から第七芸術劇場(大阪市淀川区)でも。「痛くない死に方」は3月5日になんばパークスシネマ、MOVIX堺、テアトル梅田(大阪市北区)で上映が始まる。(神田誠司)

21年度予算案

松原市

カッコ内は前年度比増減%、▼は減。歳入と歳出は一般会計の主な項目

◇総額(全会計) 869億2410万円(▼1.2)
◇一般会計 440億円(0.1)

〈歳入〉市税136億2744万円(▼4.7)▽市債28億3130万円(20・1)

〈歳出〉住民票や転出届に関する申請手続きのオンライン化など852万円▽小中学校の1学期分の給食費無償化1億1702万円

「コロナ禍で公共施設の運営時間を見直す必要性を感じた。行政サービスのオンライン化やデジタル化で市民の利便性も上げる」(澤井宏文市長)

河南町

◇総額(全会計) 103億4863万円(▼7.6)
◇一般会計 59億174万円(▼2.8)

〈歳入〉町税14億3973万円(▼3.6)▽町債